

レファレンス だより

2010年12月号
No. 97

福岡市総合図書館
図書利用課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2010年9月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
109	1,859	482	482	455
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
405	149	877	945	5,763

（開館日 23日 一日平均 250件）



今月のレファレンス徹底解説！



Q：内田百間の「老猫」を所蔵しているか？夏目漱石に送ったと言われているものなのだが…。

■福岡市の所蔵を確認する

内田百間著『老猫』は「該当データなし」。総合目録ネットワークでも一致する書誌データはなし。

■事典で確かめる

『夏目漱石事典』（平岡敏夫・山形和美/編 勉誠出版 2000年）2階 C13 R910.26/ナ

内田百間の項に「明治40年第六高等学校入学。志田義秀（素琴）を囲み俳諧一夜会を作り、百間の号を使う。『六高会誌』に写生文「老猫」を発表。それを素琴に勧められて漱石に送ると愛情あふれる内容の返事が来た。」とある。

『詩琴酒の人 百鬼園物語』（平山三郎/著 小沢書店 1979年）閉架書庫 910.2/ト

明治41年5月末、「老猫」という20枚程の写生文を書いて、六高の「校友会会誌 20号」に「ひやくケン生」という署名で掲載された。この短編は、翌年、尊敬する漱石のもとに送られた。批評を乞うためと同時にホトトギス誌に掲載してもらいたい気持ちがあった、とある。「老猫」の要約と、漱石からの手紙の文面を読むことができる。

■インターネット

内田百間が「老猫」を書いていることが確認できたので、web情報を検索する。

Yahooで“内田百間”“老猫”をキーワードとして検索する。結果の中身をみていくと、

- ・「新輯 内田百間全集 第十三巻」より、「『新輯内田百間全集 第13巻（福武書店 1988年）』に【老猫】【「老猫物語」に就いて】」が収録されていることがわかった。
- ・「全集収録作品目録」より、「『内田百間全集 第6巻』随筆億劫帳、實説艸平記、鬼園の琴、無伴奏、附録「老猫物語」に就いて（『東炎』昭和11年9月号）、老猫物語（『六高校友会誌』22号 明治41年）、濛虚集を読む（『山陽新報』明治39年6月11日）」が収録されていることがわかった。『内田百間全集 第6巻』に「随筆億劫帳、實説艸平記、鬼園の琴、無伴奏」が収録されているものを調べると、講談社出版の全集であることがわかった。

（福岡市図書館ではいずれも所蔵していない）

■「老猫」「老猫物語」を収録している書籍を、他図書館より借り受ける

『新輯内田百間全集 第13巻』（内田百間/著 福武書店 1988年）柳川市立図書館より貸借
p421「老猫」、p431「老猫物語」に就いて、p434「老猫物語」

『内田百間全集 第6巻』（内田百間/著 講談社 1979年）九州大学伊都図書館より貸借
p473「老猫物語」に就いて、p474 老猫物語



その他にもこんな質問がありました

Q：幻灯機について知りたい。映し出された絵も見たい。

■百科事典

『日本大百科全書 8 け-こうの』(小学館 1994年) 2階 C1 R031/ニ

幻灯の項に「ガラス板に描いた風景画や写真などにつよい光を当て、レンズを利用して映写機に拡大して映して見せる仕掛け。映写する機械が幻灯機。」とある。

■映画・映像関連

『幻燈の世紀』(岩本憲児/著 森話社 2002年) 1階映 92 778.9/イ

幻燈の誕生から、日本に幻燈が渡来して江戸写し絵が始まり、明治時代には幻燈が再渡来し大流行したことなどについて書かれている。

『写し絵』(小林源次郎/著 中央大学出版部 1987年) 2階 B19 779.1/コ

日本の幻灯略史には、享和元年(1801年)に日本に輸入され写し絵として発達したとある。当時の幻灯機や写し絵の写真あり。

『図説映像トリック』(広瀬秀雄・矢牧健太郎/著 河出書房新社 2002年) 1階ポ 61 535.87/ヒ

幻燈機の変遷が図で示してあるほか、江戸の写し絵についての解説がある。図版多数あり。

『映像体験ミュージアム』(東京都写真美術館/監修 森山朋絵/企画 編 工作舎 2006年) 1階映 90 778/エ
ヨーロッパの幻燈機の種板の写真あり。

Q：余紹宋(よしょうそう)の経歴が知りたい。書画を描いていると聞いたので、作品も見たい。

■美術事典

『中国書道文化辞典』(西林昭一/著 柳原出版 2009年) 2階 C12 R728.22/ニ

「余紹宋」生没年 1883~1949、字は越園、号は寒柯、浙江省の人。清末に日本の法制大学に留学、卒業後帰国し外務部主持の任につく。司法関係の職を歴任するも圧政に抗議し職を辞す。後に杭州で売画生活を送る。1943年に浙江省通志館館長。収蔵に富み、山水画をよくし、刻印も巧みだったとある。

『書画書録解題』他、数冊の著作を紹介している。

■書道関連

『中国書人名鑑』(鈴木洋保・弓野隆之/編 二玄社 2007年) 1階ポ 62 728.22/フ

経歴の記述あり。「書は各体に優れたというが、伝存の遺例では行草が主流である。重厚な線條で、一行の貫通力に富み、雄渾な作風を展開している。」とある。書の写真あり。

『書論と中国文学』(大野修作/著 研文出版 2001年) 2階 B17 728.22/オ

第十二章「余紹宋と『書画書録解題』」にて、余紹宋の一生と著作『書画書録解題』を中心に論じている。余紹宋の先祖のことや余紹宋が13歳で講義を担当するなど学問に秀でていたことが記されている。

「基本的に民国の高級官僚としての一生」を送る中で『書画書録解題』を含む3つの大著を書いたとある。書・絵は収録されていない。

■中国書

『中国美術大辞典』(邵洛羊/主編 上海辞書出版社 2002年) 2階国際 A6 FR102CHI/702.22/SH

「余紹宋」の項に経歴の他、「風梢雨篠図」という竹の絵が載っている。

■インターネット

Yahooで“余紹宋”を検索する。「論壇にみる中国近代の国画(PDF)」の論文が見つかる。どの雑誌に掲載されたものかを確認すると、「石川禎浩/編『中国社会主义文化の研究』京都大学人文科学研究所発行、2010年5月、p61~」と判明。

「京都大学人文科学研究所」【<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>】>共同利用拠点「現代中国研究センター」>「成果・報道」に「石川禎浩編『中国社会主义文化の研究』(京都大学人文科学研究所、2010年5月)。PDF版はこちら。目次から各論文をクリックすると、全文が閲覧できます。」とある。

「論壇にみる中国近代の国画—徐悲鴻と余紹宋」中村哲夫

「Ⅲ最後の文人画家・余紹宋」に詳しい経歴あり。「3 画家としての余紹宋」に「酔竹」「寒三友・梅」の2作品の画像あり。

Q：役職定年について知りたい。

■人事管理・労務管理事典

『人事・労務用語辞典 第6版』（日経連事務局/編 日経連出版部 2001年）2階 D6 R336.4/ジ
役職定年制は管理職定年制ともいい、一般に定年制延長にともなって旧定年年齢あるいはある一定年齢で管理職ポストを離脱し、その専門的能力をもって専門職などに異動する制度。新陳代謝の促進による組織の活性化、人材の育成、従業員の意識改革をねらいとしている。

■人事管理関連

『職場のトラブル防止ハンドブック』（産労総合研究所出版部経営書院 2006年）2階 D13 336.4/ジ
役職定年が適用されると部下がいなくなることから、仕事に対する熱意が急激に低下する人が少なくない。そのための対策のポイントなどが挙げられている。

■雑誌

『賃金事情 2009年9月20日号』（産労総合研究所）2階 M14
「2009年中高年層の処遇と出向・転籍等の実態に関する調査」【その1 調査結果の概要】が掲載されており、役職定年制度の導入率等が確認できる。

『賃金事情 2009年10月5日号』（産労総合研究所）2階 M14
【その2 企業別実態】が掲載されており、企業の「中高年層の賃金減額の取扱いと今後の方向」「役職定年制度の内容と運用状況」「早期退職優遇制度の内容と運用状況」「出向手当の支給方法と支給金額」「中高年層の進路選択とキャリア形成等に関する施策」の内容がわかる。

Q：九州の橋についてどのような文献を所蔵しているか知りたい。貸出可能な本がよい。

■九州の橋関連

『九州橋紀行』（九州橋梁・構造工学研究会/編 西日本新聞社 1995年）2階 B14 291.9/キ
所在地・橋のデータ・交通案内・観光案内・カラー写真・説明文とで170余の橋を紹介している。橋の豆知識の頁や橋梁データ一覧表あり。石橋は各県代表的なもののみをとりあげている。

『石橋は生きている』（山口祐造/著 葦書房 1992年）閉架書庫 515.42/ヤ
石橋のルーツ、石橋文化、石工や橋の移り変わりについての記述あり。巻末に平成4年4月1日現在の「九州・沖縄の県別」「径間長順」「年代順」の石橋一覧表あり。

『眼鏡橋西洋建築 九州のかたち』（太田静六/編 西日本新聞社 1979年）閉架書庫 515/メ
西日本の石造アーチ橋（眼鏡橋）の概観や伝来経路について解説している。長崎・佐賀・熊本・鹿児島
の石造橋のカラー特集や人物特集、「橋のある日常」のエッセイもある。

『熊本の石橋313』（熊本日日新聞社 1998年）閉架書庫 515.42/ク

『里の石橋453』（木原安妹子/著 南方新社 2001年）2階 E13 515.42/キ 鹿児島島の石橋の紹介本。

『九州の石橋をたずねて 前編』（山口祐造/著 昭和堂印刷出版事業部 1975年）閉架書庫 515.42/ヤ
『同 中編』『同 後編』も閉架書庫に所蔵。

Q：中国における外資企業の数を知りたい。産業別の状況も知りたい。

■中国書

『中国統計年鑑2009』（中華人民共和国国家統計局/編 中国統計出版社 2009年）2階国際A6 F102CHI/352.2/ZH
中国の年度統計数字はこの年鑑にて発表されるものが正式数値。1994年版から英語が併記されている。最新の数字は、中国人民政府の統計局のホームページで閲覧が可能。

■日本書

『中国情報ハンドブック 2010年版』（21世紀中国総研/編 蒼蒼社 2010年）2階 C16 R302.22/チ
1980年からの数の推移が掲載。当初わずか7社だった外資企業はリーマンショックの2008年にはなんと434,937社に。約半数は製造業。それまで10数年は20数万社で推移していた数字がこの年
いっきに倍増。いかに中国経済がその後の世界経済に頼りにされていくかが数字に表れています。

『中国経済データハンドブック 2009年版』（日中経済協会 2009年）2階 C3 R332.22/チ/ビ'ジ'ネ2

『中国データファイル 2006年版』（ジェトロ 2006年）2階 C3 R332.22/チ/ビ'ジ'ネ2

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『日本教科書大系 近代編』 全27巻（講談社 東京 1978年）閉架書庫 375.9/二

～昔の教科書をひもとくなら、これ！～

「昔の教科書に載っていた・・・」というときによく紹介するのがこの『日本教科書大系』です。この本は明治の初めから第二次世界大戦後検定教科書制度が実施されるまでの間に初等教育機関で使われた主な教科書を復刻したものです。全27巻からなり、1～3:修身、4～9:国語、10～14:算数、15～17:地理、18～20:歴史、21～24:理科、25:唱歌、26:図画、27:習字・その他が収録されています。ここではお尋ねの多い、国語の教科書についてご紹介します。古くから学業の基礎は読み書きとされ、国語は欠くことのできない科目として重要性をもっていました。4巻には明治初年より10年代の重要な教科書、5巻には明治20年代の検定教科書、6巻には明治30年代の検定教科書と第1期国定国語教科書、7巻にはその第2期・第3期と第4期の第3学年まで、8巻には第4期の第4学年からと第5期、9巻には第6期と昭和22年以後の国定国語教科書が収録されています。どんな教材を使って国語学習が行われてきたか、教科書を通して知ることができます。

使ってみました！⇒“うらしまたろう”を調べる！

索引がないので、各教科書の目次をみていく。⇒第6巻尋常国語読本、第7巻第2期国定国語教科書の尋常小学読本、第3期国定国語教科書の尋常小学国語読本、第4期国定国語教科書小学国語読本（それぞれ巻3に）、第8巻第5期国定国語教科書よみかた3に収録。何年頃に使われていた教科書か確認することで探している“うらしまたろう”が掲載された教科書を特定することができる。出版年が変わるたびに、「カタカナ交じり」文から「かな」文へ変わること、会話の部分が増えること等の表現や、さし絵の変遷を興味深く見ることができる。



図書館活用術 ～児童研究資料について～

ご存知ですか？こども図書館には「子どもを研究するための資料」のコーナーがあります。ここには児童文化・児童文学・子どもの読書・子どもの教育について書かれた本を中心に資料を集め、それらを0 総記、1 子どもの読書、2 子どもの発達と心理、3 子どもの教育と育児、4 子どもと社会、5 子どもの生活とあそび、6 子どもの健康と福祉、7 障がい児のための教育、8 伝説民話昔話の研究、9 児童文学研究、の10 区分に分類してその分類ごとに色別の丸シールをラベルの上に貼っています。内容を細かく分けた方がわかりやすい分野はさらに数字をふり、シールにその番号を書いています。これらは児童研究資料（以下児研資料）独特の分類となっています。児研資料書棚の側面に、分かりやすく10分類の色と細かい内容の表示をしていますので、詳しくはそちらをご覧ください。

＜レシート＞

資料情報票 -----

児童文化と子ども学

:

タイトルコード: 1009710047645 ---

状態 : 在庫

所蔵館 : 総合図書館

配架場所: 1階児研 本棚 36

請求記号: J371.45/タ/5.2 ---

検索結果の配架場所の「児研」ということばや、請求記号・ラベルの「J」は児研資料を意味しています。左のレシートの本を探すには【請求記号の末尾についている「5.2」】で棚を探し、その中で請求記号（J371.45/タ）の本を探すこととなります。「10分類の色と細かい内容表」をみて「5のシールの色を確認し→そのシールに書かれた2を探し、371.45/タの本を探します」。つまり、児研資料はまず「児研の分類」で色シールごとに並び、その中が請求記号の順番に本が並んでいます。

「今月の1冊」で昔の教科書について採り上げましたが、現在福岡市で採用されている小・中学校の教科書は「児研資料36棚」にあります。請求記号 J375.9/モ/3.3 です。過去の教科書は閉架書庫にあります。お気軽にお尋ねください。



いよいよ冬本番！

寒くなりましたね。風邪対策は万全でしょうか？昨年、世界を騒がした新型インフルエンザ。今年もインフルエンザを心配する季節になりました。予防接種を受けたり、うがい・手洗いをこまめにするなど、体調管理には気をつけたいものですね。うつらない、うつさないために「マスク着用」、「咳エチケット」のご協力をお願いいたします。